

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

2022/2/1
No.687
大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝

Shinran

500th

ROKUJIJO



「別院墓地で休むメジロ」（撮影者 矢裂 隆司）

正月の3日に、久しぶりに自坊に帰ることができた。玄関に入るなり内孫3人に抱きつかれ、家族の温もりが体いっぱい伝わってきて目頭が熱くなった。この私を「おかえり」と迎えてくれる人がいることの有難さが身に浸みた。新型コロナ「オミクロン株」が爆発感染する前でもあったので、家族の者も、地域の人々も「大阪帰り」をころろよく迎えていただき、おせち料理をおいしくいただくことができました。

単身赴任してまもなく丸4年。別院と輪番所（輪番住宅）とを扉一枚で行ったり来たりの日暮。「行ったらっしやい」・「おかえり」の声を聞くことのない生活。したがって「ただいま」の声もない。時々独り言で玄関を出入りの時、「行ってきます」・「ただいま」と発してみても応答の声は無い。まさに一人暮らしの宿業の世界である。

いつも何かと心配する坊主から「夕食は何をいただきますしたか？」・「食材は何か送りましたか？」・「一人暮らしは慣れましたか？」と声がかかる。私を案じてくれていることに「申し訳なかなあ！」と思いつつも「ありがとう」となかなか電話先でも言えないでいる自分。一月の別院の伝道掲示板に日々出会う 何でもない

当たり前の人を 窃かに拝める

私になりたい

――ある人のつぶやき――

と書かせていただきつつ、手が震えるのを抑えきれませんでした。無明煩惱が我身に満ち満ちて、欲も多く、いかり、はらだち、そねみ、ねたむころ暇がない私が、今、現にここにいる。しかも身近な人に許されて同じ屋根の下で生活している。

【次ページに続きます】

法要・行事予定

2月		
2日	実如上人御祥月御命日	（8時）
6日	彰如上人御祥月御命日	（8時）
8日	現如上人御祥月御命日	（8時）
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	（14時）
13日	闍如上人御命日 兼日中	（8時）
22日	乗如上人 ・聖徳太子御祥月御命日	（8時）
24日	定例法話 今井 健太郎 師（第13組 常稱寺住職） 「コロナ禍からはじめる真宗仏道入門」	（13時30分）
25日	善如上人御祥月御命日	（8時）
27日	宗祖聖人御遠夜	（14時）
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	（8時）

※ 諸行事につきましては、感染状況をみて判断致します。

3月		
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	（14時）
13日	闍如上人御命日 兼日中	（8時）
21日	春季彼岸会 並 総永代経法要 兼 墓地納骨（物故者）追弔法要 （13時30分） 藤井 善隆 師（第2組 即應寺住職）	
25日	蓮如上人御祥月御命日	（8時）
27日	宗祖聖人御遠夜	（14時）
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	（8時）



告知

定例法話

天満別院では多彩な講師陣が解りやすく真宗のみ教えをお話ししてくださいます。2月は左記の通り定例法話を開催致します。

記

日時 2月24日（木）
13時30分

場所 天満別院 本堂

御講師 第13組 常稱寺住職

今井 健太郎 師

講題 「コロナ禍からはじめる

真宗仏道入門」

今月の伝道掲示板

たった一言が

人の心を傷つける

たった一言が

人の心を温める

―あるお寺の掲示板―

編集後記

ここに来てオミクロン株の感染が爆発しています。いつどこで誰がなってもおかしくない状況ですが、もし自分がなって皆に迷惑をかけたくないので毎日気になって仕方ありません。テレビを見ては落ち込んだり、なかなか気持ちが沈んだままですが、しっかりと先を見て前向きに生きて行くことが大切だと思っています。

（K）

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石屋さん

株式会社太田石材店
～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～
フリーダイヤル 0120-305-075
本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078

本山（東本願寺）御用達

(株)平安法衣店
〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

4

報告

責任役員 榊屋 義雄氏
訃報について

去る1月10日に天満別院責任役員をされていました榊屋 義雄先生（享年90・医師）がご逝去されました。榊屋先生は平成19年3月より9年間院議会議員、また平成28年2月より6年間責任役員として延べ15年の永きに亘り別院の念仏興隆のためご尽力を賜りました。

突然の訃報を受け別院の職員をはじめ、役職者の方々も驚きの念を隠せないでいました。

葬儀には輪番をはじめ、職員、ならびに院議会議員、門徒会の皆さまの有志の方々にご参列をいただきました。又、御本山（宗務総長）から弔詞を当別院責任役員の奥林 曉氏に代読をしていただき、ご門徒を代表として同役谷 康司氏より生前賜ったご功績を偲びつつご労苦に感謝の意が弔辞として述べられた。

そんな私になりたいというのは、心の底から念仏が申される私になりたいということでありましょう。「一人の念仏者の誕生」というのは、同じ屋根の下で日暮らしする生活の中で生まれることなのかも知れません。

臨時院議会 報告

榊屋 義雄先生のご命終に伴い、去る1月25日（火）、天満別院臨時院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- ・責任役員（補欠）の選定について
- ・責任役員の選定について
- ・院議会議員（補欠）の選定について
- ・常議員（補欠）の選定について
- ・その他

以上

全議案、全会一致で左記の通り可決承認されました。（敬称略）

責任役員の補欠選定

八十島 義郎

（前残任期間1月11日～1月31日）

新たな責任役員の選定

奥林 曉

谷 康司

八十島 義郎

（2022年2月1日～）

2025年1月31日）

院議会議員の補欠選定

加藤 良三

（前残任期間2022年1月11日～2023年3月31日）

常議員の補欠選定

小糸 正洋

（2022年1月11日～）

2023年3月31日）

紫幕寄贈のお知らせ

去る12月19日（日）天満別院責任役員任期満了の記念として退任される榊屋 義雄先生と奥様のみづる様から紫幕が寄贈されました。



榊屋先生が別院で写真に収まる最後のお姿となりました。

Q&A

永代経とは、どのようなお経ですか？
また永代経をあげると、永代供養になるのでしょうか？

により「永代供養」になると思っておられました。やはり最近の世相で「永代供養」という言葉を耳にすることが多いので、そのようにイメージされたんだと思います。

この「永代経」は、お経の名前ではなく、永代読経の略で永代に渡ってお寺でお経をお勤めするという意味から、そう呼ばれているものです。浄土に還っていかれた亡き人をご縁とし先祖から引き継いできた、仏さまの教えが、子や孫、末代に伝えられるようにと願いが込められています。また、永代経は亡くなられた方への、永代供養だと思われがちですが、私達真宗門徒は、亡き人は、阿弥陀仏のおはたらきで極楽浄土に生まれて「諸仏」となられたので、改めて追善供養をする必要はないのです。

自坊でも以前、若いご門徒さんからお尋ねがありまして、母の年忌がもうすぐ巡って来るので、この機会に「永代経」をあげさせて頂きたいというご依頼でした。ただお話を聞いているうちに、どうも話が噛み合わなくなり、ご門徒さんが仰るには「永代経」というのは永代経という名前のお経をお勤めしてもらうこと

内局巡回について

去る1月22日（金）午後4時から難波別院同朋会館にて宗教改革（行財政改革）の推進に向けての【内局案】に関する内局巡回が行われ、ご本山から木越宗務総長に出向していただきました。

武宮輪番が大阪教区内専任輪番代表として意見書を読まれました。その一つとして、「昨今の寺離れに新型コロナウイルスが拍車を掛け、寺院経済はますますひっ迫し、本来なら別院との連携を取っていただくはずの寺院が自坊を支えて行くだけで精一杯になっています。そういった中、例えば報恩講などの大きな法要で御親修を行って崇敬意識を高めようと考えても、なかなか叶わないのが現状であります。そこで地域教化において大変影響力の強い御門首の来院についても、もう少し来ていただきやすい環境作りを今後目指していただけるよう講じて欲しい」と述べられました。

獅子吼の会三夜連続法話

天満別院本堂にて左記の日程で第17回三夜連続法話の会が開催されます。コロナの状況によっては来場を中止しますが、ライブ配信は中止しません。開催については獅子吼の会のホームページを必ずご確認ください。

獅子吼の会ホームページ

<https://www.shishikunokai.com>

記

日時 3月7日（月）
8日（火）
9日（水）
14日（月）
15日（火）
16日（水）

場所 天満別院 本堂

時間 16時～